



Jabber for Everyone クイック スタート ガイド リリース 9.0(1)

初版：2012年07月18日

最終更新：2012年07月18日

シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255（フリーコール、携帯・PHS含む）

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ黙示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェア ライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは黙示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できないことによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

このマニュアルで使用している IP アドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



目次

Jabber for Everyone 1

このマニュアルの目的 1

「Jabber for Everyone」の概要 1

Jabber for Everyone ソリューションでサポートされる機能 2

Jabber for Everyone のアーキテクチャ 5

サーバソフトウェア 6

クライアントソフトウェア 7

関連資料 7

システム要件 9

導入の前提条件 9

ハードウェアおよびソフトウェアの要件 9

ハードウェア要件 9

ソフトウェア要件 10

Cisco Unified Communications Manager 10

IM and Presence Service 10

Cisco Jabber クライアント 11

ライセンス要件 11

Jabber for Everyone の導入ワークフロー 13

コア IM and Presence の導入 14

Unified CM でのユーザのセットアップ 15

IM and Presence Service のインストール 16

Unified CM および IM and Presence Service で不可欠なサービスの確認 16

Unified CM でのエンドユーザ機能の指定 17

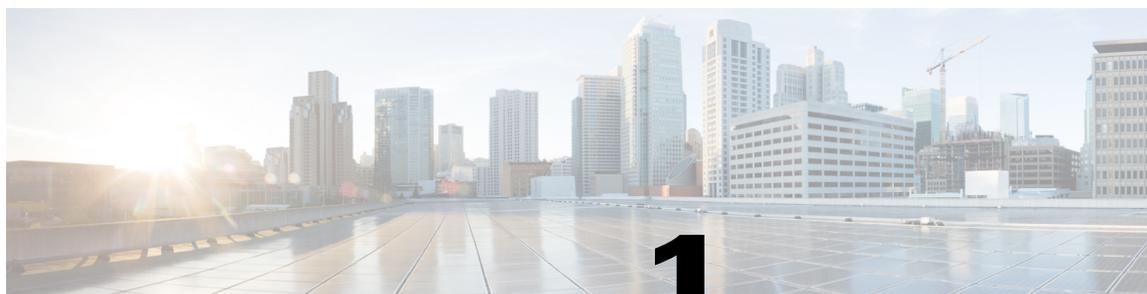
IM and Presence Service での LDAP 設定 18

LDAP プロファイルの作成 18

LDAP 属性マッピングの確認 18

Cisco Jabber のインストール 19

| | |
|--|----|
| Cisco Jabber for Windows のインストール | 19 |
| Cisco Jabber for Mac のインストール | 20 |
| Cisco Jabber Web SDK による開発 | 21 |
| Cisco Jabber IM for BlackBerry のインストール | 21 |
| Cisco Jabber IM for iPhone のインストール | 22 |
| 高度な IM の導入 | 23 |
| サポートされるフェデレーション | 23 |
| ドメイン間フェデレーション | 23 |
| パーティション化されたドメイン内フェデレーション | 24 |
| IM コンプライアンス | 24 |
| クラスター間ピアリング | 24 |
| High Availability (ハイ アベイラビリティ) | 25 |
| 高度な UC プレゼンスの導入 | 25 |
| テレフォニー プレゼンス統合 | 25 |
| SIP パブリッシュ トランクのセットアップ | 25 |
| Unified CM のプレゼンス ゲートウェイのセットアップ | 26 |
| ライン アピアランスのユーザへの関連付け | 27 |
| Microsoft Exchange との統合 | 28 |
| デスクフォン制御の導入 | 28 |
| 表示によるボイスメールの導入 | 28 |



第 1 章

Jabber for Everyone

- [このマニュアルの目的, 1 ページ](#)
- [「Jabber for Everyone」の概要, 1 ページ](#)
- [Jabber for Everyone ソリューションでサポートされる機能, 2 ページ](#)
- [Jabber for Everyone のアーキテクチャ, 5 ページ](#)
- [関連資料, 7 ページ](#)

このマニュアルの目的

このマニュアルは、シスコの「Jabber for Everyone」オファーのソリューションレベルの概要を記載した、コア機能から高度な機能に至る導入のためのクイック スタート ガイドです。また、このマニュアルには、www.cisco.com での該当するサポート マニュアルへのリンクも記載されています。

このマニュアルは、Cisco Unified Communications Manager and IM and Presence のリリース 9.0(1) をサポートします。9.0(1) よりも前の「Jabber for Everyone」については、別マニュアルの『*Jabber for Everyone Quick Start Guide, Release 7.x, 8.x*』に記載されています。

「Jabber for Everyone」の概要

「Jabber for Everyone」は、2012 年半ば以降からシスコのお客様が使用できる予定になっている新規オファーです。このオファーにより、シスコのお客様は、Cisco Unified Communications Manager を組織全体に導入した場合もまた組織の一部に導入した場合も、その全従業員が Cisco Jabber のプレゼンスおよびインスタントメッセージ (IM) を使用できるようになり、その際、エンドユーザライセンスの費用はまったくかかりません。

「Jabber for Everyone」オファーは、Jabber の Bring Your Own Device (BYOD) 機能の完全な柔軟性をプレゼンスおよび IM に提供します。Windows、MAC、iPad、iPhone、BlackBerry、および

Android に導入可能なフル レンジの Cisco Jabber クライアントが¹サポートされます。カスタマーは Jabber Web Software Development Kit (SDK) を使用して、プレゼンスおよび IM 機能に対応できるアプリケーションを構築し導入することもできます。

オファーの一部として、既存の Cisco IP Telephony ユーザである従業員は Cisco Jabber クライアントを活用して自分の IP デスクフォンを制御し、コールの開始や管理を行うことができます。また、既存の Cisco Unity Connection ユーザである従業員は表示によるボイスメールに Cisco Jabber クライアントを活用できます。Cisco Collaboration の完全なライセンスを得ているカスタマーは、「Jabber for Everyone」の IM and Presence オファーを超えて簡単に拡張し、WebEx 会議を含む Jabber の完全なユニファイドコミュニケーション機能や、標準ベースの音声および HD ビデオ（シスコの Precision Video Engine PVE テクノロジー使用）をデスクトップやモバイルデバイス間で活用できます。

Jabber for Everyone ソリューションでサポートされる機能

「Jabber for Everyone」オファーでは、次に示す幅広い範囲の Cisco Jabber 機能が使用可能になります。

- コア IM and Presence** : これはベースライン オファリングです。1 対 1 やグループ チャット IM などの標準 IM 機能を提供します。また、さまざまなプレゼンス状態 ([連絡可能 (Available)]、[退席中 (Away)]、[オフライン (Offline)]、[着信拒否 (Do Not Disturb)]、およびカスタム ステータス) なども提供します。**コア IM and Presence** では、マルチデバイスも使用可能になり、ユーザは複数の Cisco Jabber デバイス (Cisco Jabber for Windows および Cisco Jabber IM for iPhone) に並行してログインしたり、複数のデバイスと同時に IM を送受信したり、さらに任意のデバイスからプレゼンス状態を設定したりできます。サポートされる機能の詳細については、表 1 を参照してください。
- 高度な IM** : フェデレーション、コンプライアンスおよびハイ アベイラビリティなど、その他の高度な IM 機能を追加する場合は、追加設定でそれらを導入に組み入れることができます。詳細については、表 1 を参照してください。
- 高度な UC プレゼンス** : Cisco IP Phone に対応したユーザのテレフォニー状態 ([コール中 (On a call)]) または Microsoft Exchange からの会議ステータス ([会議中 (In a Meeting)]) を含むプレゼンスの追加ソースを、**コア IM and Presence** で使用可能なプレゼンス機能と統合するには、追加設定でそのように行うことができます。詳細については、表 1 を参照してください。
- デスクフォン制御** : IM and Presence 機能に加えて「Jabber for Everyone」オファーでは、Cisco IP Telephony 向けに設定されたユーザは Cisco Jabber クライアントを使用して Cisco IP Phone を制御し、コールの発信や応答を (コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) により) 行うことができます。
- 表示によるボイスメール** : Cisco Unity Connection を導入した場合は、Cisco Jabber からボイスメール メッセージを表示、再生、ソートおよび削除する機能を追加設定で追加できます。

¹ 使用可能リリースとして

コア IM and Presence は、IM and Presence の基本機能を利用する最初のステップとして、またさらに高度な UC プレゼンスや、高度な IM、デスクフォン制御または表示によるボイスメール機能のいずれかを必要に応じて有効にするための前提条件として設定する必要があります。有効にする高度な UC プレゼンスおよび高度な IM の機能を柔軟に選択できます。一般に、これらのオプションの機能は特に決まったシーケンスで設定または有効にする必要はありません。

次のマトリクスは、「Jabber for Everyone」オファァーが各クライアントにサポートする機能のリストです。

表 1: サポートされる Cisco Jabber 機能

| 機能 | Jabber for Windows | Jabber for Mac | Jabber IM for BlackBerry | Jabber IM for iPhone | Jabber for iPad | Jabber Web SDK |
|--|--------------------|----------------|--------------------------|----------------------|-----------------|----------------|
| コア IM and Presence 機能 | | | | | | |
| プレゼンス ([連絡可能 (Available)]、[退席中 (Away)]、[着信拒否 (Do not Disturb)]、[オフライン (Offline)]) | X | X | X | X | X | X |
| インスタントメッセージ | X | X | X | X | X | X |
| マルチデバイス (複数 Cisco Jabber デバイスへの同時ログインをサポート) | X | X | X | X | X | X |
| グループチャット | X | X | X ¹ | X ¹ | X | X |
| ファイル転送 | X | X | | | | |
| 顔文字 (emoticon) | X | X | X | X | X | X |
| プレディクティブ検索を含む連絡先の検索および取得 | X | X | X | X | X | |
| Microsoft Office 統合、Office 2007、2010 ² | X | | | | | |
| オフラインメッセージ | | | X | X | X | X |
| クライアント履歴 | X | | | | | X |
| ローカリゼーション | X | X | X | X | X | X |
| 高度な IM 機能 | | | | | | |

| 機能 | Jabber for Windows | Jabber for Mac | Jabber IM for BlackBerry | Jabber IM for iPhone | Jabber for iPad | Jabber Web SDK |
|---|--------------------|----------------|--------------------------|----------------------|-----------------|----------------|
| Microsoft (LCS、OCS、Lync) とのドメイン間フェデレーション ⁷ | X | X | X | X | X | X |
| IBM Sametime とのドメイン間フェデレーション | X | X | X | X | X | X |
| XMPP に対応したエンタープライズ (Cisco、WebEx、複数サードパーティ) とのドメイン間フェデレーション | X | X | X | X | X | X |
| Google とのドメイン間フェデレーション | X | X | X | X | X | X |
| Microsoft (LCS、OCS) とのパーティション化されたドメイン内フェデレーション ⁸ | X | X | X | X | X | X |
| WebEx 会議の開始/参加 | X ⁴ | | X ⁵ | X ⁶ | X ⁶ | X |
| 表示によるボイスメール (Cisco Unity Connection カスタマー) | X | X | | | | |
| 高度な UC プレゼンス機能 | | | | | | |
| Cisco Telephony Presence 統合 ([コール中 (On a call)]) | X | X | X | X | X | X |
| Exchange 予定表の統合による [会議中 (In a meeting)] ステータス | X | X | X ³ | X ³ | X ³ | X |
| デスクフォン制御 (シスコの電話機の場合) | | | | | | |
| デスクトップ電話制御 | X | X | | | | |
| 表示によるボイスメール | | | | | | |
| 表示によるボイスメール (Cisco Unity Connection カスタマー) | X | X | | | | |

| 機能 | Jabber for Windows | Jabber for Mac | Jabber IM for BlackBerry | Jabber IM for iPhone | Jabber for iPad | Jabber Web SDK |
|--|--------------------|----------------|--------------------------|----------------------|-----------------|----------------|
| ¹ 参加のみ ² プレゼンス ライトアップおよびクリック IM ³ ローカルの予定表には、Microsoft Exchange 以外 ⁴ 2012 年に使用可能 - シスコの代理店にご連絡ください ⁵ 相互起動 WebEx アプリケーション参加 ⁶ 相互起動 WebEx アプリケーション ⁷ ドメイン間フェデレーションにより、1つのエンタープライズドメインの IM and Presence クライアントユーザは、プレゼンス情報および IM を外部ドメインのユーザと交換できます。 ⁸ パーティション化されたドメイン内フェデレーションにより、同じエンタープライズドメイン内の IM and Presence クライアントユーザおよび Microsoft Office Communicator ユーザは、プレゼンス情報および IM を交換できます。 | | | | | | |

次の機能は「Jabber for Everyone」オファーに含まれていません。

- Audio
- Video
- デスクトップ共有
- 電話設定のオプション

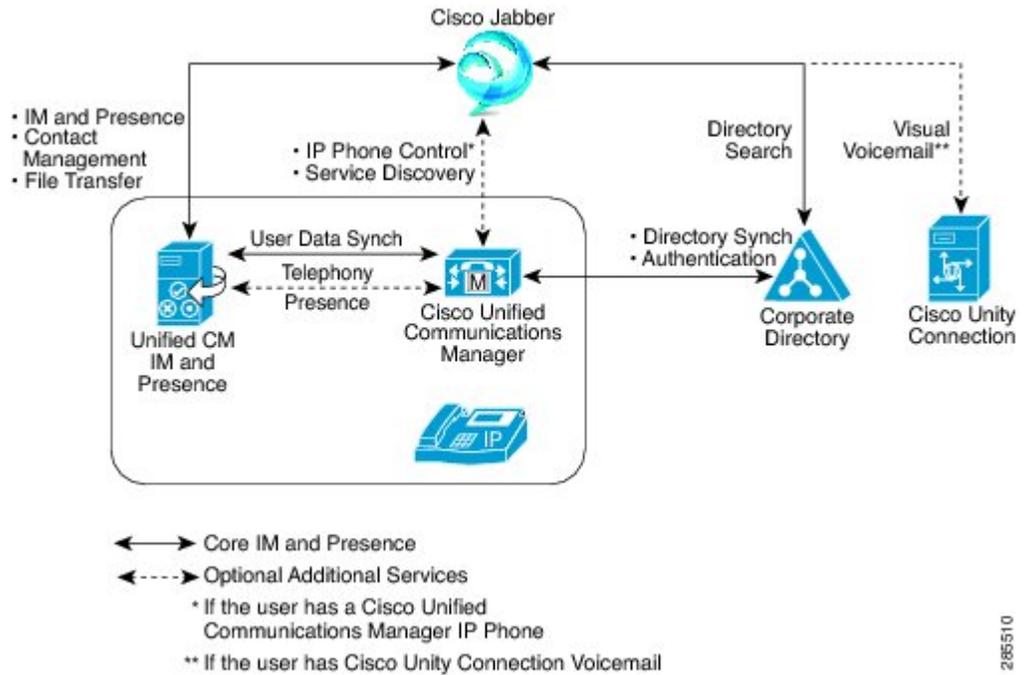
Jabber for Everyone のアーキテクチャ

「Jabber for Everyone」は、次のコンポーネントで構成される IM and Presence ソリューションです。

- サーバソフトウェア：IM、プレゼンス、およびディレクトリ サービスをクライアントアプリケーションに提供します。

- クライアント アプリケーション：IM and Presence 機能をユーザに提供します。

図 1：「Jabber for Everyone」のアーキテクチャ



関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager Data Sheet](#)
[Cisco Jabber](#)

サーバソフトウェア

“Jabber for Everyone” は、次のサーバ コンポーネントで構成されます。

- Cisco Unified Communications Manager (Unified CM)：ユーザ設定、デバイス設定、ライセンスおよびディレクトリ統合サービスを提供します。
- IM and Presence Service：インスタントメッセージおよびプレゼンス機能を提供します。
- 外部ディレクトリソース：連絡先検索および取得サービスを提供します。特定のクライアントのディレクトリ要件については、該当するクライアントのマニュアルを参照してください。

クライアント ソフトウェア

“Jabber for Everyone” は、使用可能リリースとして次の Cisco Jabber クライアントをサポートします。

- Cisco Jabber for Windows
- Cisco Jabber for Mac
- Cisco Jabber IM for Android
- Cisco Jabber IM for BlackBerry
- Cisco Jabber IM for iPhone
- Cisco Jabber for iPad
- Cisco Jabber Web SDK

関連資料

Cisco Unified Communications Manager、IM and Presence Service、および Cisco Jabber クライアントのインストール、設定、および管理に関する情報は次のリンクにあります。

- [Cisco Unified Communications Manager](#)
- [IM and Presence Service](#)
- [Cisco Jabber for Windows](#)
- [Cisco Jabber for Mac](#)
- [Cisco Jabber IM for iPhone](#)
- [Cisco Jabber for Android](#)
- [Cisco Jabber IM for BlackBerry](#)
- [Cisco Jabber for iPad](#)
- [Cisco Jabber Software Development Kit](#)



第 2 章

システム要件

- [導入の前提条件, 9 ページ](#)
- [ハードウェアおよびソフトウェアの要件, 9 ページ](#)
- [ライセンス要件, 11 ページ](#)

導入の前提条件

「Jabber for Everyone」を導入するための唯一の前提条件は、Cisco Unified Communications Manager カスタマーでなければならないことです。

ハードウェアおよびソフトウェアの要件

この項では、「Jabber for Everyone」オファ어의ハードウェアおよびソフトウェアの要件を説明します。

ハードウェア要件

“Jabber for Everyone” オファ어は、シスコ提供ソリューション、サードパーティ互換ソリューション、仮想ハードウェアソリューションをサポートします。ハードウェア要件の詳細については、IM and Presence Service および Cisco Unified Communications Manager の該当する互換性情報を参照してください。

スケール要件

Cisco Unified Communications Manager ノードの場合、ユーザを“Jabber for Everyone” オファ어で追加してもコア音声およびビデオユーザのスケラビリティに影響しません。

IM and Presence の場合、フル UC モードユーザと“Jabber for Everyone” オファ어で追加されたユーザの混合が同じノードまたはクラスタでサポートされます。次の式は、“Jabber for Everyone” オファ어で導入に追加できるユーザ数を決定する方法を示しています。

“Jabber for Everyone” ユーザの数 = (フル UC ユーザ数/最大フル UC ユーザ数) x “Jabber for Everyone” ユーザの最大数

たとえば、最大 15,000 ユーザをサポートするサーバ (MCS-7845) 上のフル UC ユーザ数が 10,000 の場合、UC の 2/3 スケールで動作しています。つまり、“Jabber for Everyone” ユーザに 1/3 が使用可能です。IM and Presence Service は、IM 専用モードに 25,000 ユーザをサポートします。したがって、8,333 ユーザ (25,000 x 1/3) を “Jabber for Everyone” で追加できます。これは合計 18,333 ユーザに達します。

関連トピック

[Cisco Unified Communications Manager のハードウェア互換性情報](#)
[IM and Presence Service のハードウェア互換性情報](#)

ソフトウェア要件

この項では、Cisco Unified Communications Manager、IM and Presence Service および Cisco Jabber クライアントのソフトウェア要件を説明します。

Cisco Unified Communications Manager

「Jabber for Everyone」は Cisco Unified Communications Manager Release 9.0(1) でサポートされます。それよりも前のリリースの Cisco Unified Communications Manager では、「Jabber for Everyone」をサポートするには Cisco Option Package (COP) ファイルをインストールする必要があります。しかし、「Jabber for Everyone」を Cisco Unified Communications Manager Release 9.0(1) でサポートする場合は COP ファイルは不要です。

IM and Presence Service

現在 Cisco Unified Presence Release 8.x も IM and Presence Service Release 9.0(1) もインストールしていない場合は、IM and Presence Service Release 9.0(1) を注文する必要があります。詳細については、「ライセンス要件」の項を参照してください。

現在 Cisco Unified Presence Release 8.6(4) 以前をインストールしてある場合は、IM and Presence Service Release 9.0(1) にアップグレードする必要があります。IM and Presence Service アップグレードソフトウェアは Cisco Unified Communications Manager の Unified Communications Software Subscription (UCSS) の一部として Cisco Unified Presence の UCSS に加えて取得できます。

IM and Presence Service Release 9.0(1) へのアップグレード方法については、『*Upgrade Guide for Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[ライセンス要件, \(11 ページ\)](#)
[Upgrade Guide for Cisco Unified Communications Manager](#)

Cisco Jabber クライアント

ソフトウェア要件については、該当する Cisco Jabber クライアントのマニュアルを参照してください。

ライセンス要件

「Jabber for Everyone」オファーにより、Cisco Unified Communications Manager カスタマーは、ライセンスに追加コストをかけることなく、Jabber IM クライアントアプリケーションおよび IM and Presence Service (オンプレミス²) のライセンスを使用できます。

既存の User Connect Licensing (UCL) カスタマーおよび Cisco Unified Workspace Licensing (CUWL) カスタマーには、次の注文オプションが使用できます。

- 既存の Unified CM UCL カスタマーは、「Jabber for Everyone」を注文してコア Cisco IP Telephony ユーザに IM を追加できます。
- 既存の Unified CM UCL カスタマーは、「Jabber for Everyone」を注文して Unified CM ユーザ以外のユーザに IM を提供できます。
- 既存の CUWL カスタマーは、「Jabber for Everyone」を注文して Unified CM ユーザ以外のユーザに IM を提供できます。

使用できる SKU を次の表に示します。

表 2: 使用できる SKU

| カスタマー | SKU |
|--------------------------------------|--|
| CUWL カスタマー | |
| Unified CM 9.0(1) の新規またはアップグレードカスタマー | 新規の JABBER-IM-ADDON をプレゼンス オンプレミス CUWL のオプション (ここでクライアントを選択) で注文します。 |
| 既存の Unified CM 9.0(1) カスタマー | 新規の JABBER-IM-ADDON スタンドアロン SKU を注文してユーザ数を要求します。 <ul style="list-style-type: none"> • 電子配信の場合は、R-JABBER-ADDON-K9 を使用します。 • 物理的な配信の場合は、JABBER-ADDON-K9 を使用します。 |
| Unified CM UCL カスタマー | |

² このオファーを HCS カスタマーは使用できません。

| カスタマー | SKU |
|--|--|
| Unified CM 9.0(1) の新規またはアップグレード カスタマー | 新規の JABBER-IM-ADDON を UCL 設定 (CUCM-USR-LIC) 内で注文します。 |
| 既存の Unified CM 9.0(1) カスタマー | 新規の JABBER-IM-ADDON スタンドアロン SKU を注文してユーザ数を要求します。 <ul style="list-style-type: none">• 電子配信の場合は、 R-JABBER-ADDON-K9 を使用します。• 物理的な配信の場合は、 JABBER-ADDON-K9 を使用します。 |



第 3 章

Jabber for Everyone の導入ワークフロー

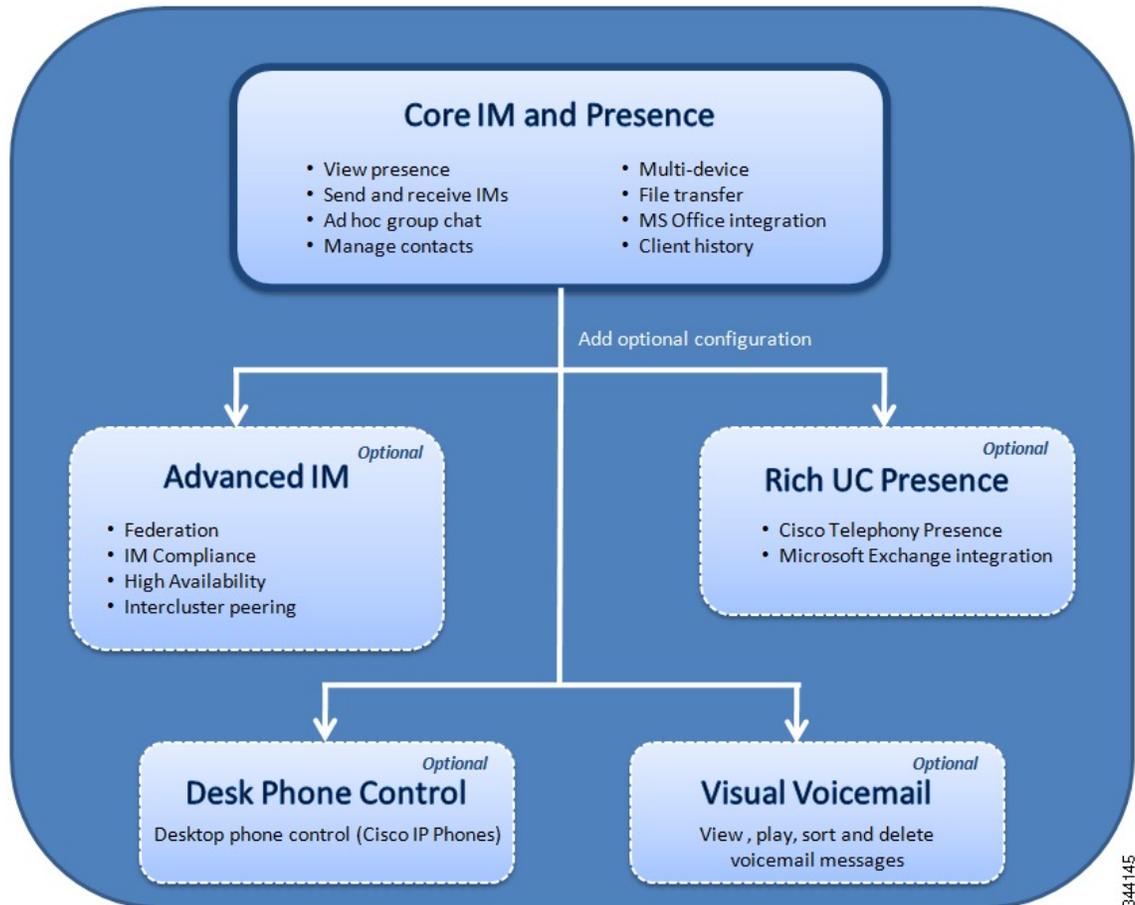
コア **IM and Presence** は、“Jabber for Everyone” ソリューションのベースライン オファリングを表します。次のいずれかのオプションの追加機能セットを組み入れることで導入を拡張できます。

- 高度な IM
- 高度な UC プレゼンス
- デスクフォン制御
- 表示によるボイスメール

各導入シナリオでは Unified CM がインストールされていると想定します。

次の図に、コア IM and Presence の機能セット、および追加設定で導入可能な高度な IM、高度な UC プレゼンス、デスクフォン制御および表示によるボイスメールのオプションの機能を示します。

図 2: 「Jabber for Everyone」の機能セット



- コア IM and Presence の導入, 14 ページ
- 高度な IM の導入, 23 ページ
- 高度な UC プレゼンスの導入, 25 ページ
- デスクフォン制御の導入, 28 ページ
- 表示によるボイスメールの導入, 28 ページ

コア IM and Presence の導入

次に、ネットワークでコア IM and Presence 機能を有効にするために完了しなければならない概要タスクを示します。

- 1 Unified CM にユーザをセットアップする。
- 2 IM and Presence Service をインストールする。
- 3 Unified CM および IM and Presence Service で不可欠なサービスを確認する。
- 4 Unified CM のエンド ユーザに機能割り当てを指定する。
- 5 IM and Presence Service に LDAP プロファイルを作成する。
- 6 Cisco Jabber をインストールする。

Unified CM でのユーザのセットアップ

Cisco Jabber クライアントは Cisco Unified Communications Manager からユーザの詳細を取得します。このため、Cisco IP Phone ユーザでないユーザを含めてユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加する必要があります。

手順

ステップ 1 次のいずれかの方法によってユーザを Cisco Unified Communications Manager に追加します。

- LDAP ディレクトリを設定して同期します。
LDAP ディレクトリの設定および同期化の手順については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「LDAP directory setup」の項を参照してください。
- 個々のユーザを手動で追加します。
個々のユーザの手動による追加手順については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「End user setup」の項を参照してください。
- 一括管理ツールで複数のユーザを追加します。
一括管理ツールで複数のユーザを追加する手順については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide*』の「User additions」トピックを参照してください。

ステップ 2 アクセス コントロール グループ [標準 CCM エンド ユーザ (Standard CCM End Users)] にユーザを割り当てます。
ユーザ グループにユーザを割り当てる手順については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide*』の「Add users to access control groups」の項を参照してください。

関連トピック

- [LDAP directory configuration on Unified CM](#)
- [End user configuration on Unified CM](#)
- [Add users with BAT](#)
- [Add users to an access control group](#)

IM and Presence Service のインストール

“Jabber for Everyone”には IM and Presence Service との統合が必要です。ご使用の環境に IM and Presence Service がまだ含まれていなければ、Unified Communications ソフトウェアの配信に含まれる IM and Presence Service ソフトウェアをインストールする必要があります。

手順

次のいずれかの方法によって IM and Presence Service をインストールします。

- 応答ファイルを使用してインストールプロセス中に定義済み設定を読み取ります。

ヒント 応答ファイルを使用して IM and Presence Service をインストールしてください。応答ファイルを使用すると、インストールプロセスを初期化する前に設定値を定義できます。これにより、自動化インストールによって確実に正常なインストールを行うことができます。

- 手動によるインストールを実行します。

インストール手順については、『*Installing Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[Installing Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

Unified CM および IM and Presence Service で不可欠なサービスの確認

2つのサーバ間でデータが確実に同期され、Cisco Jabber クライアントが IM and Presence 機能サービスにアクセスできるようにするには、Unified CM および IM and Presence Service で不可欠な多数のサービスをアクティブにする必要があります。



(注) ほとんどのサービスはサーバをインストールすると自動的にアクティブになって開始します。ただし、次の手順に示されているサービスが開始済み状態であることを確認してから、その他すべての導入タスクに進む必要があります。

手順

ステップ 1 Cisco Unified Communications Manager で次のサービスがアクティブにされ開始済み状態であることを確認します。

Cisco AXL Web

このサービスによって、Cisco Unified Communications Manager は IM and Presence Service とデータを同期するようになります。

詳細については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』の「Activate feature services」の項を参照してください。

ステップ 2 IM and Presence Service で次の機能サービスがアクティブにされ開始済み状態であることを確認します。

- Cisco Presence Engine
- Cisco Sync Agent
- Cisco XCP Connection Manager
- Cisco XCP Authentication Service
- Cisco XCP Text Conference Manager

詳細については、『Cisco Unified Serviceability Administration Guide』の「Activate and deactivate feature services」の項を参照してください。

ステップ 3 IM and Presence Service 上のすべてのネットワーク サービスがアクティブにされ開始されていることを確認します。

関連トピック

- [Activate feature services](#)
- [Activate and deactivate feature services](#)

Unified CM でのエンドユーザ機能の指定

IM and Presence 機能を Cisco Unified Communications Manager でユーザに割り当てる必要があります。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified Communications Manager Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] の順に選択します。
- ステップ 3** フィルタを使用して、IM and Presence に有効にするユーザを検索します。
- ステップ 4** [エンドユーザの設定 (End User Configuration)] 画面で、[Unified CM IM およびプレゼンスにユーザを有効にします (Enable User for Unified CM IM and Presence)] をオンにします。
- ステップ 5** [保存 (Save)] を選択します。



(注) 一括で IM and Presence 機能を割り当てることもできます。詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Bulk Administration Guide*』を参照してください。

関連トピック

[ユーザ更新](#)

IM and Presence Service での LDAP 設定

IM and Presence Service の LDAP プロファイルは、連絡先検索機能をクライアントに提供します。ディレクトリ要件とセットアップの詳細については、該当する Cisco Jabber クライアントのマニュアルを参照してください。



(注) LDAP プロファイルを作成し、Cisco Jabber クライアントが現在 IM and Presence Service の LDAP プロファイルと統合されない場合でも、LDAP 属性マッピングを確認する必要があります。

LDAP プロファイルの作成

手順

LDAP プロファイルを作成し、ユーザにそのプロファイルを割り当てます。

『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』の「LDAP directory integration」の項を参照してください。

(注) 『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』の手順は Cisco Unified Personal Communicator を指します。ただし、これらの手順は、LDAP プロファイルが IM and Presence Service に必要な Cisco Jabber クライアントにも適用されます。

関連トピック

[LDAP directory integration](#)

LDAP 属性マッピングの確認

同じ LDAP 属性マッピングが IM and Presence Service および Cisco Jabber に確実に使用されるようにする必要があります。

手順

-
- ステップ 1 [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。
 - ステップ 2 [アプリケーション (Application)]>[レガシークライアント (Legacy Clients)]>[設定 (Settings)] の順に選択します。
 - ステップ 3 [レガシークライアントの LDAP 属性マッピング (Legacy Client LDAP Attribute Mapping)] セクションで属性マッピングを確認します。
 - ステップ 4 [保存 (Save)] を選択します。
-

Cisco Jabber のインストール

Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service のセットアップ手順が完了した後で、適切な Cisco Jabber クライアントをインストールし設定する必要があります。ただし、すべての Cisco Jabber クライアントのインストールに関する詳細な指示を記載することは、このマニュアルの範囲を超えています。このマニュアルでは、IM and Presence を導入した Cisco Jabber をインストールするために完了しなければならない手順の概要を示します。詳細については、該当するクライアントのマニュアルを参照してください。

Cisco Jabber for Windows のインストール

このトピックでは、Cisco Jabber for Windows をインストールするために完了しなければならない概要タスクを説明します。

Cisco Jabber for Windows のインストールおよび設定の手順については、『Cisco Jabber for Windows Administration Guide』を参照してください。

手順

-
- ステップ 1 Cisco Jabber for Windows の設定パラメータを確認します。
(注) ほとんどの環境において、Cisco Jabber for Windows に設定はまったく必要なく、IM and Presence Service および Microsoft Active Directory に自動的に接続できます。コンフィギュレーションファイルを作成する前に、デフォルトの設定パラメータを確認して、何か設定が導入に必要であるかを判断します。
『Cisco Jabber for Windows Administration Guide』の「Configure Cisco Jabber for Windows in an on-premises deployment」の項を参照してください。
 - ステップ 2 (任意) 導入に設定が必要な場合は、次の手順を完了します。
 - a) コンフィギュレーションファイルを作成します。
 - b) TFTP サーバ上でコンフィギュレーションファイルをホストします。

- c) Cisco Unified Communications Manager で TFTP サービスを再開します。
コンフィギュレーションファイルをホストするノードごとに TFTP サービスを再開する必要があります。

『Cisco Jabber for Windows Administration Guide』の「Configure Cisco Jabber for Windows」の章を参照してください。

- 「Configuration overview」
- 「Prepare your TFTP server」
- 「Create global configurations」
- 「Create group configurations」
- 「Restart your TFTP server」

- ステップ 3** Cisco Jabber for Windows をインストールします。
『Cisco Jabber for Windows Administration Guide』の「Deploy Cisco Jabber for Windows」の項を参照してください。
-

関連トピック

[Cisco Jabber for Windows Administration Guide](#)

[Cisco Jabber for Windows の設定](#)

[Cisco Jabber for Windows の導入](#)

Cisco Jabber for Mac のインストール

このトピックでは、Cisco Jabber for Mac をインストールするために完了しなければならない概要タスクを説明します。

Cisco Jabber for Mac のインストールおよび設定の手順については、『Cisco Jabber for Mac Installation and Configuration Guide』を参照してください。

手順

- ステップ 1** Cisco Jabber for Mac の設定パラメータを確認します。
『Cisco Jabber for Mac Installation and Configuration Guide』の「Overview of Cisco Jabber for Mac」および「Deploy Cisco Jabber for Mac on-premises」の項を参照してください。
- ステップ 2** Cisco Jabber for Mac をインストールします。
『Cisco Jabber for Mac Installation and Configuration Guide』の「Overview of Cisco Jabber for Mac」および「Deploy Cisco Jabber for Mac on-premises」の項の次のトピックを参照してください。
- 「Configure Cisco Unified Presence settings」

- 「Start essential services」
- 「Configure firewalls」
- 「Deploy certificates」
- 「Configure IM and availability」
- 「Distribute the Cisco Jabber for Mac client」

関連トピック

[Cisco Jabber for Mac Installation and Configuration Guide](#)

Cisco Jabber Web SDK による開発

Cisco Jabber Web SDK を使用すると、Cisco Unified Communications 機能を Web アプリケーションに統合できます。IM 機能を Web アプリケーションに統合するには、Cisco AJAX XMPP Library (CAXL) を使用します。CAXL は、Web ブラウザで実行し XMPP メッセージを HTTP POST として送受信するクライアントサイド JavaScript ライブラリです。

手順

-
- ステップ 1** Web サーバをセットアップします。
 - ステップ 2** CAXL ライブラリを Cisco Developer Network からダウンロードします。
 - ステップ 3** ご使用の Web サイトの作業ディレクトリに CAXL ライブラリの内容を抽出します。
 - ステップ 4** XMPP メッセージを送受信するために必要な HTML を JavaScript オブジェクトで実装します。
-

関連トピック

[Cisco Developer Network](#)

[IM and Presence \(CAXL\) の概要](#)

Cisco Jabber IM for BlackBerry のインストール

このトピックでは、Cisco Jabber IM for BlackBerry をインストールするために完了しなければならない概要タスクを説明します。

Cisco Jabber IM for BlackBerry のインストールおよび設定の手順については、『Cisco Jabber IM for BlackBerry Quick Start Guide』および『Cisco Jabber IM for BlackBerry Administration Guide』を参照してください。

手順

- ステップ 1** クライアント アプリケーションを BlackBerry App World からインストールします。詳細については、『Cisco Jabber IM for BlackBerry Release 1.0 Quick Start Guide』の「Updating or reinstalling Cisco Jabber IM for BlackBerry」の項を参照してください。
- ステップ 2** Cisco Jabber IM for BlackBerry にログインします。
『Cisco Jabber IM for BlackBerry Release 1.0 Quick Start Guide』の次の項に、アプリケーションへのログインに関する情報があります。
- 「Signing in to Cisco Jabber IM for BlackBerry」
 - 「I installed Cisco Jabber IM for BlackBerry myself (from a link)」
 - 「My administrator installed Cisco Jabber IM for BlackBerry for me」
-

関連トピック

[Cisco Jabber IM for BlackBerry Administration Guide](#)

[Cisco Jabber IM for BlackBerry Quick Start Guide](#)

Cisco Jabber IM for iPhone のインストール

このトピックでは、Cisco Jabber IM for iPhone をインストールするために完了しなければならない概要タスクを説明します。

Cisco Jabber IM for iPhone のインストールおよび設定の手順については、『Cisco Jabber IM for iPhone Administrator's Guide』を参照してください。

手順

- ステップ 1** クライアント アプリケーションを Apple App Store からインストールします。詳細については、『Cisco Jabber IM for iPhone Administrator's Guide』の「Deployment and Distribution」を参照してください。
- ステップ 2** Cisco Jabber IM for iPhone にログインします。
『Cisco Jabber IM for iPhone Administrator's Guide』の次の項に、アプリケーションへのログインに関する情報があります。
- 「Deployment and Distribution」
 - 「Cisco Unified Presence and VPN Configuration」
 - 「Multiple Resource Login - Cisco Unified Presence」
-

関連トピック

[Cisco Jabber IM for iPhone Administrator's Guide](#)

高度な IM の導入

“Jabber for Everyone” は、ベースライン導入を拡張するオプションの高度な IM and Presence 機能をサポートします。

- フェデレーション
- IM コンプライアンス
- High Availability (ハイ アベイラビリティ)
- クラスタ間ピアリング

サポートされるフェデレーション

“Jabber for Everyone” は、ドメイン間フェデレーションとパーティション化されたドメイン内フェデレーションをサポートします。

ドメイン間フェデレーション

“Jabber for Everyone” は、次とのドメイン間フェデレーションをサポートします。

- Microsoft Live Communications Server (LCS)
- Microsoft Office Communications Server (OCS)
- Microsoft Lync
- IBM Sametime
- XMPP に対応したエンタープライズ (Cisco、WebEx、複数サードパーティ)
- Google

Cisco Unified Presence でのドメイン間フェデレーションの導入の詳細については、『*Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

ドメイン間フェデレーションのサポートと必要なすべての設定を確認するには、該当する Cisco Jabber クライアントのマニュアルを参照してください。

関連トピック

[Interdomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

パーティション化されたドメイン内フェデレーション

“Jabber for Everyone” は、次とのパーティション化されたドメイン内フェデレーションをサポートします。

- Microsoft Office Communications Server
- Microsoft Live Communications Server

パーティション化されたドメイン内の導入の詳細については、『*Partitioned Intradomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

パーティション化されたドメイン内フェデレーションのサポートと必要なすべての設定を確認するには、該当する Cisco Jabber クライアントのマニュアルを参照してください。

関連トピック

[Partitioned Intradomain Federation for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

IM コンプライアンス

IM コンプライアンスを提供するために、IM and Presence サービスは、1つのサーバ、クラスタ間、またはフェデレーテッドネットワークの設定で次のタイプ IM のデータを収集します。

- ポイントツーポイント メッセージ
- 一時的なチャット メッセージと固定チャット メッセージを含むグループ チャット

IM コンプライアンスの設定の詳細については、『*Instant Messaging Compliance for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[Instant Messaging Compliance for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

クラスタ間ピアリング

大規模導入に IM and Presence の複数クラスタを導入できます。複数クラスタを導入する場合は、同じドメイン内の各 IM and Presence クラスタにピア関係を定義する必要があります。

複数クラスタの導入の詳細については、『*Cisco Unified Communications System 9.x SRND*』を参照してください。

クラスタ間導入の設定の詳細については、『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager*』の「IM and Presence Intercluster Deployment」の項を参照してください。

関連トピック

[Cisco Unified Communications System 9.x SRND
IM and Presence Intercluster Deployment](#)

High Availability (ハイ アベイラビリティ)

IM and Presence Service は、クラスタ化されたサーバでハイ アベイラビリティ (HA) をサポートします。サブクラスタのノードが故障した場合、そのノードの IM and Presence のサービスはサブクラスタの第 2 ノードにフェールオーバーします。その結果、ユーザに IM and Presence Service の損失が発生することはありません。

HA 導入の設定については、『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

高度な UC プレゼンスの導入

必要に応じて“Jabber for Everyone”の導入を拡張し、Cisco IP Phone ユーザの電話プレゼンス ([コール中 (On a call)]) や会議ステータス ([会議中 (In a Meeting)]) を Microsoft Exchange との統合により含めることができます。

テレフォニー プレゼンス統合

次に、ネットワークの Cisco IP Phone ユーザに高度なプレゼンスを導入する場合に完了しなければならない概要タスクを示します。

- 1 SIP パブリッシュ トランクを設定します。
- 2 Unified CM にプレゼンス ゲートウェイを設定します。
- 3 IM and Presence 機能に対応できるユーザにライン アピアランスを関連付けます。

SIP パブリッシュ トランクのセットアップ

Cisco Unified Communications Manager は SIP トランクにより IM and Presence Service と通信します。

手順

-
- ステップ 1** Cisco Unified Communications Manager で SIP トランクを設定します。

SIP Trunk configuration on Cisco Unified Communications Manager 手順については、『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』の「SIP Trunk configuration on Cisco Unified Communications Manager」の項を参照してください。

- ステップ 2** SIP パブリッシュ トランクを IM and Presence で選択します。
- a) [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。
 - b) [プレゼンス (Presence)] > [設定 (Settings)] の順に選択します。
 - c) [CUCM SIP パブリッシュ トランク (CUCM SIP Publish Trunk)] ドロップダウン リストから SIP パブリッシュ トランクを選択します。
 - d) [保存 (Save)] を選択します。

関連トピック

[SIP Trunk configuration on Cisco Unified Communications Manager](#)

Unified CM のプレゼンス ゲートウェイのセットアップ

Cisco Unified Communications Manager を IM and Presence Service でのプレゼンス ゲートウェイとして設定する必要があります。プレゼンス ゲートウェイを使用すると、Cisco Unified Communications Manager および IM and Presence Service はユーザの在席状況を共有できます。

手順

- ステップ 1** [Cisco Unified CM IM and Presence の管理 (Cisco Unified CM IM and Presence Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2** [プレゼンス (Presence)] > [ゲートウェイ (Gateways)] の順に選択します。
- ステップ 3** [新規追加 (Add New)] を選択します。
- ステップ 4** [プレゼンス ゲートウェイ タイプ (Presence Gateway Type)] ドロップダウン リストから [CUCM] を選択します。
- ステップ 5** [説明 (Description)] フィールドに説明を入力します。
- ステップ 6** [プレゼンス ゲートウェイ (Presence Gateway)] フィールドに次の値のいずれかを指定します。
 - Cisco Unified Communications Manager パブリッシュの IP アドレス
 - Cisco Unified Communications Manager パブリッシュの完全修飾ドメイン名 (FQDN)
 - Cisco Unified Communications Manager サブスクリバノードに解決される DNS SRV FQDN
- ステップ 7** [保存 (Save)] を選択します。
 プレゼンス ゲートウェイの設定の詳細については、『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』の「Presence Gateway configuration on IM and Presence」の項を参照してください。

関連トピック

[Presence Gateway configuration on IM and Presence](#)

ライン アピアランスのユーザへの関連付け

テレフォニー プレゼンスを有効にするには、IM and Presence 機能に対応できる各ユーザを Cisco Unified Communications Manager でライン アピアランスに関連付ける必要があります。

手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] インターフェイスを開きます。
- ステップ 2 [デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] の順に選択します。
- ステップ 3 電話のリストを取得するために次のいずれかを行います。
 - [機能割り当ての検索条件 (Find Capabilities Assignment where)] フィールドに適切な基準を指定し、[検索 (Find)] を選択します。
 - [検索 (Find)] を選択して使用可能なすべてのユーザのリストを取得します。
- ステップ 4 適切なデバイス名をリストから選択します。
[電話の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 5 [割り当て情報 (Association Information)] セクションで適切な回線のリンクを選択します。
[電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 6 [回線に関連付けられているユーザ (Users Associated with Line)] セクションで [エンドユーザの関連付け (Associate End Users)] を選択します。
[ユーザの検索/一覧表示 (Find and List Users)] ウィンドウが開きます。
- ステップ 7 ユーザのリストを取得するために次のいずれかを行います。
 - [機能割り当ての検索条件 (Find Capabilities Assignment where)] フィールドに適切な基準を指定し、[検索 (Find)] を選択します。
 - [検索 (Find)] を選択して使用可能なすべてのユーザのリストを取得します。
- ステップ 8 適切なユーザをリストから選択します。
- ステップ 9 [選択項目の追加 (Add Selected)] を選択します。
- ステップ 10 [電話番号の設定 (Directory Number Configuration)] ウィンドウで [保存 (Save)] を選択します。

Microsoft Exchange との統合

IM and Presence Service は Microsoft Exchange との統合によって、ユーザの Microsoft Outlook 予定表のイベントはクライアントアプリケーションでユーザの在席状況を変更するようになります。

IM and Presence Service および Microsoft Exchange 間の統合を有効にするには、Microsoft Exchange サーバとのゲートウェイ接続を確立する必要があります。



(注) IM and Presence Service は、Microsoft Exchange 2003、2007、および 2010 との統合をサポートしません。

Microsoft Exchange 統合の詳細については、『*Microsoft Exchange for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[Microsoft Exchange for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0\(1\)](#)

デスクフォン制御の導入

コンピュータ テレフォニー インテグレーション (CTI) またはデスクフォン制御により、ユーザは自分の Cisco IP Phone を Cisco Jabber で制御できます。デスクフォン制御を有効にするには、CTIUC サービスをセットアップしてそれをサービスプロファイルに割り当てる必要があります。

Cisco IP Phone のデスクフォン制御をセットアップする方法の詳細については、『*Cisco Unified Communications Manager Administration Guide, Release 9.0(1)*』を参照してください。

関連トピック

[CTI サービスの追加](#)

[サービスプロファイルのセットアップ](#)

表示によるボイスメールの導入

Cisco Unity Connection は、Cisco Jabber インターフェイスからボイスメールメッセージを表示、再生、ソートおよび削除する機能を Cisco Jabber ユーザに提供します。

Cisco Jabber ユーザに表示によるボイスメールをセットアップする方法の詳細については、『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』を参照してください。



-
- (注) 『*Deployment Guide for IM and Presence Service on Cisco Unified Communications Manager, Release 9.0(1)*』に記載されている表示によるボイスメールのセットアップに関する情報は Cisco Unified Personal Communicator を指しますが、その同じ情報は Cisco Jabber にも適用されます。
-

関連トピック

[表示によるボイスメールのセットアップ](#)

